２００６年度　ゆきとどいた教育をすすめる

全国 3000 万署名･推進ニュース　NO. 10

発行日:２００６年9月２６日　　発行:全教･日高教･教組共闘

-大阪-　今年は１２０万筆を達成します!

９月６日、７０名を超える父母・教職員が集まり、大阪５団体共同３０００万署名スタート集会が開かれました。大阪５団体として運動を始めて６年目になり、今回も、大阪全体の教育が今どうなっているかをみんなで捉えなおし、運動をすすめる決意を固めあう場となりました。

学校教育を「お金で買い取る」状況に!　　-奈良女子大-　中山徹氏講演

集会では、奈良女子大学の中山徹先生が『教育の機会均等実現にむけて』というテーマで講演。「小泉構造改革」のなか、学校教育を「お金で買い取る」状況に変わってきている、という例がいくつか冒頭に紹介され、会場に衝撃を与えました。教育が親の経済力次第となれば、①格差が固定されること　②親が教育の主体者から消費者になってしまうこと　③教育にコストが求められるようになれば雇用形態の不安定化をまねくこと、などが問題提起されました。その解決のために、「新自由主義に反対するだけでなく、参加・自治への道筋をつくる改革をしていこう」と呼びかけられ、会場からは力強い拍手がわきおこりました。

参加者からもあつい発言が、次々と!

「障害児教育をすすめる会」のお母さんは、「障害を持つ子どもたちが増えつづけ、教室増設では間に合わなくなっており、養護学校の新設を求める運動をすすめています。普通学校でも心を病む子どもたちが増えており、お互いに連携を取りながら国・府に働きかけていきましょう」と、訴えられました。また、**私学**からは、８月末には大阪府の「授業料軽減助成削減」の方針が示され、各学校から削減反対のメールを送る運動をすすめている、との報告がありました。さらに、**高校**からは、府立高校学区拡大のため、「行きたい高校に行ける」どころか競争・序列化がすすめられてきていること、さらに、府の改革は府民にいっそうの負担増をおしつけ、「教育の機会均等」が崩され、経済的格差が生徒父母を苦しめていることが報告されました。

高槻市では「少人数学級の早期実現を求める意見書」全会派一致で採択

義務制からは、大阪府ではすべての小学校１・２年生の３５人学級が始まっていますが、３年生以上でも少人数学級を求める署名がいくつかの市町村でとりくまれていること。また高槻市議会では「国の責任で少人数学級の早期実現を求める意見書」を全会一致で採択するなど、新たな動きも出ていることが語られました。また、就学援助金認定基準改悪の動きもあり、「はねかえす運動を強めていきましょう」との訴えがありました。

「毎月 30 日は 30 人学級の日」　ー大阪5団体は頑張りますー

大阪５団体は、「３０００万署名は憲法・教育基本法に命を与える運動」と確認し、教育基本法改悪を継続審議に押しとどめた世論の力を信じ、一昨年度の署名数１２０万を目標に運動をすすめています。とりわけ、今年は「毎月３０日は３０人学級の日」をできる限り追求しようと、「府立高校すすめる会」は8月から始動しました。参加は５人でしたが３０分で３５人分が集まりました。少しずつでも頑張って続けていこうと、話しています。

５団体統一行動日は、１０月２８日（土）で、昼は京橋駅、夕方は天王寺駅と、ダブルヘッダーで署名行動を展開します。　　(大阪５団体事務局長　石崎)

＜お知らせ＞　ー全教のホームページを見てください!ー

この「全国 3000 万署名・推進ニュース」が全教のホームページで見られるようになりました。また、スタート集会のアピールなど、様々な 3000 万署名に関する資料も載っていますので、ご活用ください。